

団体名	特定非営利活動法人チーム御前浜・香櫨園浜 里浜づくり		
団体の所在地	西宮市	代表者名	加藤 一郎

1. 事業名	御前浜～浜辺であそぼ！里浜健康体操～親子で楽しみ、学ぶ～
2. 実施期間	平成26年4月～平成27年2月
3. 主な実施場所	西宮市西波止町地先 御前浜
4. 活動形態	実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	毎月最終日曜日の午前10時から12時まで、浜辺での遊びを通して体験型環境学習を延68名の小中学生の親子向けにおこなった。 取り入れた主要なプログラムは、 <ul style="list-style-type: none"> ・炭ゴミひろい…バーベキュー後の炭は自然に帰ることなく残るため手で拾い集める。 ・アサリの紙芝居…生活排水で汚れた海をアサリが浄化してくれることを学ぶ。 ・生き物探し…磯でカニ、ヤドカリや貝を採集してその種類や生態を学習する。 ・ジャンボしゃぼん玉…浜風、広い浜辺ならではの遊びを通して浜の楽しさを学ぶ。 ・凧揚げ…連凧づくりでは思い思いの絵描きをしたオリジナル凧を揚げ、浜風を楽しむ。 ・貝殻リースづくり…いろんな種類の貝殻を使ってオリジナルリースを作る楽しさを学ぶ。 9月は団体が主催するイベント「ひろっぱフェスタ」において他のコーナーと連携した大規模なワークショップとして開催し、また、津波クイズ&模擬津波かけこを通して防災意識も持てるようなプログラムで多くの小中学生との体験型環境学習を行うことができた。
6. 成果・反響・ 反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ・人気の生き物探しでは、採ったカニの種類・雌雄の区別、ヤドカリや貝の生態などを分かりやすく興味を持てるように説明し、また兵庫県レッドデータ「C ランク」の「ハクセンシオマネキ」等珍しい生き物の観察もできたことで、御前浜の生物多様性に関心を持ってもらうことができた。 ・ジャンボしゃぼん玉は広い浜辺ならではの遊びとして大人の興味も惹き、御前浜が貴重な財産であることに関心を持ってもらうことができた。 ・自然相手であり、思わぬ台風など不意の天候に左右され、延期の周知徹底に課題を残した。 ・生き物が少ない季節の新企画に貝殻を集めての標本づくりは好評であった。 ・御前浜の菊池貝類館の見学は、同館が閉鎖されたので実現できなかった。 ・西宮市自然保護協会とは大谷洋子事務局員に講師として参加頂いた。
7. 成果物	無し

8. 活動写真



ジャンボしゃぼん玉。大きなものは15mものしゃぼん玉になります。



磯辺には数が減ってきている珍しい「ハクセンシオマネキ」も生きています。



御前浜にはたくさんの種類の貝が住んでいます。貝殻を集めながらどんな種類の貝がいるのかを標本を作って学びます。